

平成23年度 岡山県立邑久高等学校 自己評価書

分類：学校経営計画に対応 ①学力向上 ②心身の健全な発達 ③生徒会、部活動の充実 ④開かれた学校づくり ⑤学習環境の整備

分類	担当	重点目標	取組方法	達成基準	評価	結果の分析及び改善方策等
①	教務課	「学び合い」を授業に定着させ、協同的態度と意識を高め、学力・コミュニケーション能力を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開や研修会などを通じて教員の学びあいリテラシーを向上し個々の授業に活かす 「学び合い」先進校から学び、いいものは取り入れる 学び合い、コミュニケーションアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業や研修会を年5回以上開催する 1/3以上の教員が「学び合い」を実践している学校を訪問する アンケートによる学び合い・コミュニケーションアンケートの肯定的回答が80%以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1月末現在公開授業や研修会は8回実施。 神戸大附属中等学校や安西高校、中学校等延べ16人が訪問。 1年次生対象数学意識アンケート「学び合いの授業が好きか」の項目で肯定的意見51%で否定的意見14%、全校対象学習に関するアンケート「協同志向質問」肯定的意見平均92%
①	教務課	単位制の長所を活かし、生徒の興味関心・進路目標にきめ細かく対応した科目選択が可能な新教育課程を編成し、円滑に平成24年度からの一部実施と平成25年度からの完全実施ができるように準備をする	<ul style="list-style-type: none"> 各教科会議・教育課程委員会・課長主任会議等と連携を図り新教育課程の細部を決定する 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から実施する教育課程と学校設定科目の計画などが完成する 	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度入学生用教育課程は11月職員会議で決定。 来年度実施の学校設定科目も12月末完成
②	生徒課	指導メモの活用により指導を充実させ「自律協同」の意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や学年会議等で生徒指導上の連携を密にし、共通理解の徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 担任負担の軽減、問題行動、再指導生徒の減少 	B	<ul style="list-style-type: none"> 担任負担の軽減がなされ、指導生徒数も年次経過で減少している。生徒指導上の共通理解が保たれていて、生徒の生活態度に関する意識も高まり、落ち着いて生活できている。教務指導メモを含め他の分掌とも連携し充実させたい。
③	生徒課	部活動の顧問間の連携を図り、より充実した指導体制の確立を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 顧問会議で具体的取組について提案する 	<ul style="list-style-type: none"> 半数以上の顧問から指導体制の向上が認識される 	B	<ul style="list-style-type: none"> 半数以上の顧問から指導体制の向上が認識されたが、そうでない部活動もみられる。部活動の日を活用するなどして、会議や出張時の指導や活動場所の管理なども含めた対策として更に顧問間の連携を深めたい。

平成23年度 岡山県立邑久高等学校 自己評価書

分類: 学校経営計画に対応 ①学力向上 ②心身の健全な発達 ③生徒会, 部活動の充実 ④開かれた学校づくり ⑤学習環境の整備

分類	担当	重点目標	取組方法	達成基準	評価	結果の分析及び改善方策等
①	進路指導課	「学び直し」を効果的に実施することで, 生徒の学習意欲を高める	<ul style="list-style-type: none"> 1年次生国語, 数学, 英語でベネッセ「マナトレ」を実施。 各教科授業初めの15分程度学び合いの形で行い, 夏休みに認定テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年次生の夏の家庭学習時間が入学時より1割増加する 実施後アンケートで, 中学校の学習内容の定着が図れたという回答が8割を超える 	B	<ul style="list-style-type: none"> スタディーサポート結果より平日の学習時間 4月 62分 → 8月 49分で減少したが, 成績は伸びた。(Bゾーンが7名増え, Dゾーンが16名減少, D3は23名減少) 生徒アンケートの結果, 76.4%が役だったと回答している。 学習実態調査の結果では, 4月 96.6分→1月 115.3分と増加した。
④	進路指導課	進路関係の行事を保護者・地域に開放し, 地域に向けて情報発信する	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の案内を保護者に行き届かせる 進路行事(大学講義体験・大学別説明会等)を地域に開放する 	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事への保護者の参加者が昨年度(30人)より増える 大学別説明会を地域に開放し, 地域の小中学生やその保護者等の参加がある 	B	<ul style="list-style-type: none"> 5月進路説明会保護者の参加者約100名 昨年度の人数は正確に把握できていなかったが, 明らかに今年度の方が多かった。
①	図書課	図書の選定を工夫し, 学習や進路研究に役立つ蔵書にする	<ul style="list-style-type: none"> 各課, 各教科, 学年団との連携をはかり, 授業や進路研究等に必要な図書をそろえ, 授業や, 「総合的な学習の時間」, LHR等での図書館の活用を推進する 県立図書館等, 外部機関との連携を図り, 学力向上に効果的な図書利用ができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 年間の貸し出し総数を昨年以上を目指す(目標値 1000冊) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1月末現在, 総貸出数1419冊(1年787冊 2年316冊 3年316冊)。1年は読書を国語科課題にし, LHRで読書の時間を設定した。2. 3年は例年並み。各教科に新規購入本のリストアップを依頼し, 購入分野の偏りの改善を進めた。
③	図書課	図書委員会活動を活性化し, 企画・実行する図書委員を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員会の定例化を行い, 千町祭やNIE等での活動を通じて, 自主的な活動を援助する 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の図書委員会に図書委員の8割以上が毎回参加する 委員によるポスターを年間6枚以上作成する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 委員は自主的に活動できた。「お勧め本」ポスターは毎月作成し, テーマも委員で設定できるようになった。
②	厚生課	保健だよりなどにより, 生活リズムと心身の健康状態の関連性を自覚し, 生活の改善が図れるようにする	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭における健康状態の実態を把握する 生徒保健委員会の活動として, 基本的な生活習慣の確立を図るための啓発活動を行う 食習慣の重要性を理解させ, 食堂の利用を促進させる 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣と健康の相関関係を, 保健だよりやポスターで知らせ自己管理能力を養成する。保健だよりは年10枚作成する 食堂検討委員会と連携し食堂利用について検討する 	B	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止・危機対応講演会を実施し, 自己管理能力が高まった。 保健だよりは8回, ポスターは4枚作成済み。保健意識は高まっている。

平成23年度 岡山県立邑久高等学校 自己評価書

分類：学校経営計画に対応 ①学力向上 ②心身の健全な発達 ③生徒会、部活動の充実 ④開かれた学校づくり ⑤学習環境の整備

分類	担当	重点目標	取組方法	達成基準	評価	結果の分析及び改善方策等
⑤	厚生課	一斉清掃や大掃除など、年間の清掃活動を通して環境美化に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別回収を徹底させる ・汚さない教育の徹底を図る ・保健委員や生活委員が担任や教科担当と協力して、教室の換気や整理整頓を心がけさせる。 ・清掃用具を充実させ、清掃活動に積極的に参加できる環境を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活委員による環境美化点検を、汚れた箇所の早期美化を指示するために年間5回行う ・安全点検を、危険箇所の発見と美化整備に努めるために、年間7回行う 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃道具を充実させ、清掃活動を充実させた。 ・トイレの美化マナーを再認識させた。 ・安全点検は6回実施済み、不良箇所を改善している。 ・環境美化点検は現在4回目を計画中。
④	企画広報室	邑久高生の活躍する姿を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問やオープンスクールを利用し、生徒の具体的な情報や活躍する姿を発信する ・PTA、同窓会や在校生の保護者と連携した広報活動を行う ・メディアへの積極的な情報提供を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験授業等昨年度以上に生徒が活躍するオープンスクールを実施する ・広報活動(中学校訪問、学校説明会)への生徒の参加を実現する 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2回のオープンスクールで生徒が活躍した。 ・広報資料作成に多くの生徒の協力が得られた。
④	企画広報室	公開行事や部活動を活用し、地域交流および学校間交流を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・公開行事(千町祭・講演会・講座・授業など)を活用し、地域の方との交流を図る ・部活動交流や中学校訪問を通じて中学生や中学校教員との交流を図る ・学校評議員による評価・意見の活用に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開行事の案内配布を充実させ、行事への地域の方の参加を実現する ・部活動交流を積極的に働きかけ、交流回数(昨年度20回)が増加する 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公開行事や地区別説明会などの案内を中学校・地域に配布することができた。 ・部活動交流は昨年並みであった。
⑤	情報推進室	情報セキュリティを高める、また情報管理のための規定を円滑に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティーポリシーを運用し、問題点を洗い出し改善する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティーポリシーの教職員への徹底をはかるため9月までに改善を検討し、必要な場合は改善する 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティーポリシーの改善を検討したが、緊急に行う問題点はなかった。
④	情報推進室	ホームページのさらなる充実をはかり、積極的な情報発信を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・更新回数を増やし、文書ダウンロードページの充実もはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回以上の更新を行う 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・8月よりブログを取り入れ、ほぼ毎週のように更新している。 ・中学生用にメッセージ動画や学校紹介フォトギャラリーを発信した。
②	教育相談室	相談室の活動を通じて、生徒が充実した学校生活を送れるよう支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・相談日や教育相談LHRを通して、生徒の心に働きかける ・ゆうゆうスクエアが安心して利用できる場としての役割を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談LHRを全学年で実施する ・ゆうゆうスクエア当番を決め、昼と放課後に毎日開室する 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆうスクエアの昼の開室は100%。放課後は、毎日ではないが、必要に応じて開室。LHRは予定通り実施できた。
②	教育相談室	特別な支援を必要とする生徒へ適切な対応ができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーと連携をはかり、生徒や保護者の相談に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ケース会議(事例検討会)を行い、個々の事例に対応する ・教員対象の研修会を行う 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・SCやSSWの方にも参加していただき1・2年のケース会議を行った。教員対象の不登校に関する研修会を実施。

平成23年度 岡山県立邑久高等学校 自己評価書

分類：学校経営計画に対応 ①学力向上 ②心身の健全な発達 ③生徒会、部活動の充実 ④開かれた学校づくり ⑤学習環境の整備

分類	担当	重点目標	取組方法	達成基準	評価	結果の分析及び改善方策等
①	1年次	「学び合い」の授業により、仲間とともに高め合うことで、学力の向上とコミュニケーション能力の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> 各教科、クラスで「学び合い」の形態を導入すると同時に、教員同士も授業を参観し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合い」に関するアンケートにおいて、「学び合い」の形態に肯定的な回答が80%以上であること 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で取り組んだ結果、よりよいクラス形成の足がかりとなった。定期考査をがんばる、みんなで学習するという雰囲気が定着した。
①	1年次	単位制の長所を説明し、生徒の進路実現にふさわしい選択をさせる	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間に限らず、積極的に面接を行い、進路に対する意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間での面接を含め、計4回以上面接を行う 志望別集会を3回行う 	B	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを用いて生徒に説明し、また担任、教科担当との面談を重ねたことで適切に選択を終えることができた。
① ②	2年次	学校生活において積極的に取り組む態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合い」の授業を充実させる 千町祭への取り組みについて、多くの生徒が関わることができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒へのアンケート(授業評価アンケートなど)で、約8割の生徒が積極的な姿勢を示すこと 	B	<ul style="list-style-type: none"> 千町祭については、多くの生徒が積極的に取り組むことができた。 「学び合い」については、「学習集団形成度調査」で、「最も勉強ができたと思える授業形態」を訊ねると、「グループ学習」を挙げる者は、29.4%であった。これは、1年次の27.6%、3年次の26.9%と比べると、高かった。
①	2年次	進路意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 担任・学年主任による面談を充実させる 課題研究、志望別集会を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> 対策ノートを1冊作る(国公立大学志望者) 進学希望者についてはオープンキャンパスに参加する(全員) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究(邑友タイム)の時間と小論文(夏期補習)の時間に小論文・面接についての「対策ノート」を作った。 全員オープンキャンパスに参加した(部活動など、事情のある者は除く)。
①	3年次	生徒の進路志望を実現するために、一人ひとりに合った丁寧な進路指導を展開するとともに、学力を充実させる取り組みを、学年・教科が連携して進める	<ul style="list-style-type: none"> 生徒とのきめ細やかな個人面談を通じて、推薦入試や就職対策の充実を図る 「学び合い」の授業を通じて学力の向上を目指し、コミュニケーション能力を高めていく 	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定者に対して、志望した進路への決定率が学年の95%以上であること 	B	<ul style="list-style-type: none"> 90.3% 数値的には達成できていないが、100%の生徒は全体の約7割で、次ぐ70%を入れると、97%を越える。 担任とのきめ細やかな進路面談や学年団あげて取り組むことができ、充実した進路指導ができた。
②	3年次	社会マナーの基本となる規律正しい生活習慣をしっかりと身につけ、最高学年として後輩の模範となる学校生活を過ごすことができるように、生活指導の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> 保健室や保護者との連絡を密にし、また生徒課や教育相談とも連携しながら生徒の健康面やメンタル面について把握し、健全な学校生活をサポートする 原点に戻って、挨拶や礼儀、清掃活動などにも再び重点を置き、日々の生活を充実して過ごすことができるように指導する 特別活動や学校行事での様々な体験を通じて、達成感や満足感を得られるような充実した高校生活となるように学年で連携して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より遅刻・欠席者を減らし、年間皆勤者数20名以上 学校生活の満足度(学校自己評価質問事項)90%以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は78%と、目標は達成できなかった。学年全体としては、遅刻・欠席や保健室利用は減少し、概ね規則正しい生活を過ごすことができた。 学校祭やUD整備事業への参加など、学年あげて取り組む活動で成果を上げることができた。